

北上市総合計画 2021~2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和6年度）

基本方針	3.すべての人が活躍できる環境づくり
基本施策	3-2.文化芸術及びスポーツを核とした地域活性化
関連するプロジェクト	3.地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト

関係団体と連携を図りながら、すべての市民が文化芸術及びスポーツを身近に感じることができる機会や民俗芸能の保存継承への支援を充実させ、心身ともに健康な生活を営みつつ、積極的な活動を通じて地域の魅力向上につながる取組を推進します。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
6

No.	担当部	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析		今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かること) (◇:R7/◆:R8以降)	
							市の活動による影響(内部要因)	社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	まちづくり部	● 文化芸術を活用したまちづくりの推進	文化芸術基本条例及び文化芸術推進基本計画に基づき文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、心豊かな市民生活と活力ある地域社会、誰もが郷土に誇りと愛着を感じることのできるまちを目指し、文化芸術施策に関する研修会の開催や、さくらホールや日本現代詩歌文学館の文化芸術活動や、市民芸術祭、利根山光人記念美術館における常設展または企画展、生涯学習センターや地区交流センターを拠点とする文化芸術活動の充実など、市民の芸術活動への継続した支援を行う。	①②③	指標に基づく事実	①市民芸術祭の参加者数は、コロナ禍前の数字に戻りつつある。ただし、出展者は増えた一方で入場者数は昨年よりも少なくなっている。 ②日本現代詩歌文学館開催の講座等参加者数について、R5年度より大幅に増加し、期待値を上回った。 ③さくらホールの利用者数については、R5年度に20周年イベントを開催したことによって増加している。 ④既存のイベントに加え、新規開催のものや内容の改善を図った。	A	指標に関する内容 ①②③各事業ともHPやチラシ、SNS、ポスター等を利用し、市民へ事業内容の周知を図った。 ②日本現代詩歌文学館では「第2回きたかみ・鬼の国俳句フェスティバル」を開催。宮部みゆきや夏井いつきなど有名選者を迎えて、入選句の合評やシンポジウムを実施したことにより、多数の来場者がいた。	指標に関する内容 ①②③新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、イベントに参加しやすい環境になってきている。	◇誰もが心豊かに生活し、文化芸術に親しむ機会を提供するため、特に子どもに対するアプローチに力を入れることとし、次の事業を行う。 ・市内の幼稚園・保育園を対象としたプロの音楽家派遣事業(アウトドア)を実施。(7月～翌年2月) ・文学館での「子ども俳句教室」実施(6月・10月)や「俳句まつり」(11月)作品募集を通じ、句作の楽しみを体験、共有する。 ・利根山光人美術館として、企業が開催するイベントに出展し、ワークショップを実施。(8月) ・利根山光人美術館で美術館まつりを開催。(9月) ・昨年度に引き続き、きたかみ子どもフェスタへ出展する。(11月)
				指標以外の事実	・民俗芸能推進事業を民俗芸能協会に委託して実施し、発表機会の創出や保存伝承の支援を図った。 ・利根山光人記念美術館における企画展等、市民が様々な場所で文化芸術にふれる機会を創出した。 ・北上市文化芸術推進会議開催し北上市文化芸術基本計画の進行管理を行った。	(A)	指標以外の内容 ・民俗芸能の公演や鑑賞の機会創出のため、委託を通じて民俗芸能団体との出演調整やコーディネートを行った。さらに、初の試み「踊フェス」を通じ、若い世代の担い手同士の交流を行った。 ・利根山光人記念美術館企画展に関連し、若い世代に人気のあるイラストレーターのワークショップを実施した。	指標以外の内容 ・北上市文化芸術推進会議で出た意見を踏まえ、文化芸術のアウトドア活動に力を入れた。		
2	まちづくり部	● ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進	スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室等や自然を活かしたウォーキング、サイクリングコースなどスポーツ施設以外でも市民が楽しみながら参加でき、スポーツを日常的に行なうことができるよう取組、日常生活にスポーツの要素を掛け合わせる取組を推進するとともに、新しいスポーツ等のスポーツ環境の整備、高齢者が生涯スポーツを継続できる取組、スポーツを観戦する機会の提供、スポーツボランティアに関する情報を提供する。	④⑤	指標に基づく事実	④スポーツ施設の稼働率は微減となったが、期待値はクリアしている。 ⑤市民一人当たりの施設利用回数は前年から増加しているが、期待値より下回っている。	B	指標に関する内容 ④黒岩スポーツ交流館が供用開始となり、施設数が増えたことが、全体の利用者数の増加につながっている。	指標に関する内容 ④コロナ禍が完全に収束し、施設利用者は増加傾向にある。	◇施設予約システムを更新し、学校開放施設も含めてキャッシュレス決済等が可能になり、利便性向上に伴う利用人数の増加が見込まれる。 ◇4月より北上市民武道館が供用開始となり、施設利用者数の増加が見込まれる。 ◇市スポーツ協会と協力して市民が気軽に参加できる事業を実施する。 ◇必要に応じて、サイクリングルートの案内表示の維持管理を行う。 ◇新設した高齢者の大会参加を促進する補助金を活用してもらうため、周知等を行う。
				指標以外の事実	・市民がスポーツをする機会を提供するため、スポーツ協会を通じて、スポーツ教室等市民を対象とした事業を実施している。 ・サイクリングルートの道路標識の修繕を行い利便性を向上させた。 ・高齢者の健康寿命の延伸と生涯スポーツの継続を目的に補助金制度を制定した。	(B)	指標以外の内容 ・市の補助金を活用してスポーツ協会が主催の事業を実施している。特に北上市民スポーツ大会は、地域づくり組織の協力もあり、地域住民の参加が促進されている。 ・サイクリングルートについて、冬季間の除雪等で既存の道路標示が剥がれる等で適切な案内が不十分であった。 ・高齢者が参加する大会の移動費を支援してほしいというニーズがあり、今後の活用が期待される。	指標以外の内容 ・市の補助事業として、スポーツ協会を通じて各競技団体の育成・強化事業を実施している。 ・各種大会参加事業費補助金(東北大会)の補助金の件数が、例年60件前後で推移しており、高い競技レベルに触れる機会へ支援するところで競技力向上を後押ししている。		
3	まちづくり部	競技スポーツの推進	トップアスリート、優れた指導者の育成のため、有力チームの合宿誘致やプロスポーツの試合開催を通じて、良質なプレーに触れる機会を提供するとともに、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等の指導者育成支援を通じ、市全域の競技力向上に繋げる。	⑥	指標に基づく事実	R6年度の国民スポーツ大会への参加者数は27名であった。コロナ以降のR3～R5の直近3回について、30名前後の参加者数となっている。 R4年度は9種目28名中ラグビー20名 R5年度は8種目31名中軟式野球16名 R6年度は12種目27名中団体競技なし 出場競技によって参加者数が増減しており、競技力が低下しているわけではない。	B	指標に関する内容	指標に関する内容	◇市スポーツ協会と協力して選手強化事業を継続して実施する。 ◇トップアスリートに触れる機会を創出するため、大会の誘致やプロチームの公式戦に係る協力をする。 ◆スポーツ医科学・データ解析に基づいた指導等の時代に沿った最先端の知識や指導が必要になってくる。またスポーツ・インテグリティ(高潔性・健全性)の確保等も求められているため、スポーツ推進計画等に盛り込む。
				指標以外の事実	良質なプレーに触れる機会を提供し、また市全域の競技力向上に繋げた。 ・Jリーグ、Wリーグの公式戦 ・スポーツ協会により選手強化事業の実施 ・各種大会参加事業費補助金 交付件数:59件(前年比▲9件) ・ネーミングライツ料を活用して総合体育館のトレーニングマシンを更新した。	(B)	指標以外の内容 ・市の補助事業として、スポーツ協会を通じて各競技団体の育成・強化事業を実施している。 ・各種大会参加事業費補助金(東北大会)の補助金の件数が、例年60件前後で推移しており、高い競技レベルに触れる機会へ支援するところで競技力向上を後押ししている。	指標以外の内容 ・高規格の施設を維持することで、東北大会以上の大大会やプロスポーツチームの公式戦誘致につながり、高い競技レベルを観戦する機会の提供につながっている。		

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析		今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かること)(◇:R7/◆:R8以降)
							市の活動による影響(内部要因)		
4	まちづくり部	●	スポーツを通じたまちづくりの推進	未設定	人口減少時代への社会変化に伴い、数を追うのではなく、何度も足を運んでくれるファン層を獲得する必要がある。各地に点在する地域資源に磨きをかけ、シビックプライドを醸成するとともに、ターゲットを定めたプロモーションを行い、年に複数回来訪してくれるファン層の獲得を推進する。	B (B)	指標に関する内容		◇より魅力あるイベントとするために目標数を増やし、ファンランの新設や地元特産品を意識したエイドステーションの充実等を図る。 ◆R6年度に引き続き、ファン層を獲得するため「走る楽しさ」や「スポーツに关心をもってもらう」な魅力的なイベントを目指す。
							指標以外の内容	初年から一貫して走ることの楽しさをコンセプトとして周知したことと、市民に対し「ランフェスきたかみ」というイベントが浸透してきただることが参加申込者数の増加に繋がったと分析している。	
5	教育部	●	指定文化財の保護・保存	⑦	・新たに上須々孫館経塚を市指定史跡に指定した。これにより、国・県・市指定文化財は169件となり、期待値・目標値とも上回っている。	A (A)	指標に関する内容	継続的な文化財調査により、文化財の価値を明らかにし、文化財保護審議会での審議・答申につなげている。	◇公共サインガイドラインに基づく定期点検等により継続的に、老朽化した文化財説明板の修繕・更新を行っていく。 ◆史跡の適切な管理のために、支障木伐採や間伐・枝打ちを拡充する。
							指標以外の内容	・文化財説明板の整備は、既設説明板の状況把握を行い、順位を決めて計画的に整備を進めた。 ・史跡の草刈は、地元自治会等への業務委託により実施し、文化財愛護の意識涵養に役立てた。	
6	教育部	●	民俗芸能の育成と伝承	⑧	市が主催する事業に175団体の出演があり、R5より13団体増加した。	A (A)	指標に関する内容	民俗芸能記録調査会(公開収録)、定住自立圏構成自治体間の芸能団体相互派遣等により、芸能団体の公演機会の創出を図った。	定住自立圏構成自治体間の芸能団体相互派遣事業により、継続した公演機会が確保できている。
							指標以外の内容	各種補助金助成金の情報を広報・HPを通じて関係団体等に周知した。	

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析		今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かること)(◇:R7/◆:R8以降)
							市の活動による影響(内部要因)		
7	教育部	● 重要な史跡の確保と活用	未整備の史跡についても整備促進に向けた検討を順次行う必要があり、先行して取り組んでいる八天遺跡は保存活用計画・整備基本計画に基づき、今後は整備事業を進めていく。	未設定	整備事業を推進するため現地の地形測量に基づき史跡八天遺跡整備の基本設計を実施した。	A (A)	指標に関する内容		◇八天遺跡の環境整備を実施するため、景観改善眺望工事の実施設計を行う。 ◆各種工事の実施設計、用地取得、整備工事を進め、史跡の保存活用のための整備を進めていく。
							指標以外の内容	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会を3回開催し、基本設計の内容に関する検討を行った。	

凡例 ● 実績値 - - - 期待値

指標①		指標の説明		40,000 30,000 20,000 10,000 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標②		指標の説明		270 220 170 120 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標③		指標の説明		300,000 200,000 100,000 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7						
市民芸術祭の参加者数(出演者、出品者、入場者数)		市民芸術祭に出演及び出品した参加者数と入場者数(文化芸術活動は表現することだけではなく鑑賞することも必要であるため。)							日本現代詩歌文学館開催の講座等の参加者数		日本現代詩歌文学館開催の講座等の参加者数		さくらホールの利用者数							さくらホールのホール及びファクトリーの利用者数		300,000 200,000 100,000 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7										
担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
まちづくり部	人	実績値	31,950	12,176	14,994	21,192	28,605	28,620		まちづくり部	人	実績値	194	175	136	182	209	252		まちづくり部	% %	実績値	255,083	137,732	164,443	220,578	241,747	234,987				
		期待値 ※R7は目標値	31,950	32,125	32,300	32,475	32,650	32,825	33,000			期待値 ※R7は目標値	194	203	213	222	231	241	250			期待値 ※R7は目標値	255,083	260,736	266,389	272,042	277,694	283,347	289,000			
		備考							備考									備考														
指標④		指標の説明		75 70 65 60 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標⑤	指標の説明		10 5 0 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標⑥	指標の説明		60 40 20 0 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7								
体育施設の稼働率		体育施設の稼働率							体育施設・学校開放利用回数(市民一人当たり)		体育施設・学校開放利用者数／北上市人口		国スポ出場者数							国民スポーツ大会への参加者数		60 40 20 0 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7										
担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
まちづくり部	%	実績値	65.7	69.7	68.5	68.9	74.1	71.2		まちづくり部	回	実績値	9.1	6.5	5.6	6.4	6.6	7.4		まちづくり部	人	実績値	40			28	31	27				
		期待値 ※R7は目標値	65.7	66.4	67.1	67.9	68.6	69.3	70			期待値 ※R7は目標値	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1			期待値 ※R7は目標値	40	41.7	43.3	45.0	46.7	48.3	50			
		備考							備考									備考			中止	中止										
指標⑦		指標の説明		170 168 166 164 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標⑧	指標の説明		200 150 100 50 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7							指標⑨	指標の説明										
指定文化財件数		国・県・市指定文化財の件数							市主催民俗芸能公演出演団体数		市が主催する民俗芸能公演事業等の出演団体数		担当部等							担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
教育部	件	実績値	166	166	168	168	168	169		教育部	団体	実績値	164	109	66	128	162	175		教育部	人	実績値										
		期待値 ※R7は目標値	166.0	166	167	167	167	168	168			期待値 ※R7は目標値	164	166	168	170	172	174	176			期待値 ※R7は目標値										
		備考							備考									備考														
指標⑩		指標の説明									指標⑪		指標の説明									指標⑫		指標の説明								
担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値											
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値											
		備考									備考										備考											
指標⑬		指標の説明									指標⑭		指標の説明									指標⑮		指標の説明								
担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	斜線	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値											
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値																					